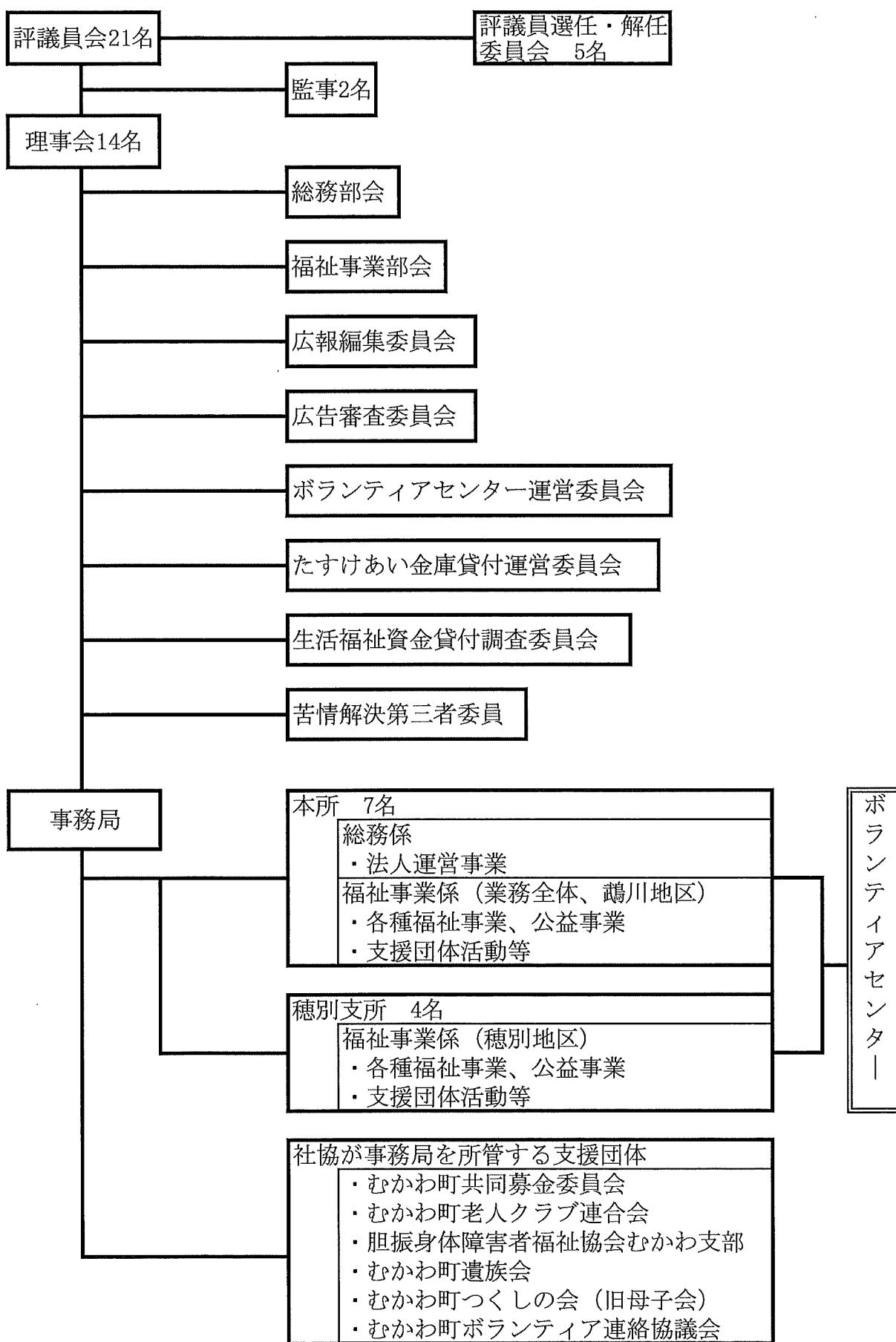


令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 むかわ町社会福祉協議会

令和元年度 社会福祉法人むかわ町社会福祉協議会 組織図



令和元年度　社会福祉法人むかわ町社会福祉協議会事業報告

令和元年度基本方針

社会福祉協議会は、公益性と透明性の高い事業・組織の経営を行いながら、事業を実施し、住民の皆様とともに地域福祉の推進に努めています。

さて、現在の社会福祉を取り巻く環境は、社会保障・社会福祉制度が充実しても、急速に進む少子高齢化、人口減少時代を迎え、高齢化率の上昇、単身世帯や認知症患者の増加、生活困窮、老々介護、引きこもり、子どもの貧困等、さまざまな社会構造の変化や生活課題が生じています。

このような中、社会福祉協議会は、地域福祉を進める担い手として、改めてその存在と役割を發揮することが求められています。

国においては、社会福祉法改正のほか、地域共生社会の実現に向けた諸施策が展開される方向にあり、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」「丸ごと」の地域共生社会づくりが推進されようとしています。

こうした世の情勢を踏まえ、誰もが参加できる地域の居場所や支え合いの仕組みづくり等の住民の活動をともに考え、支えることで、住民主体の地域福祉を推進する使命を果たします。

〔概　要〕

地域社会においては、少子高齢・人口減少社会、孤立や経済的困窮の深刻化や多発する自然災害を背景に福祉課題は年々と複雑・多様化しております。

一部の地域では、祭礼の担い手不足や行事の休止、老人クラブ等の維持困難など大きな課題が浮き彫りとなり、このままでは町内全体の活力の低下につながると危惧し、各地域の活性化が急務であることを強く実感しました。

胆振東部地震から1年4ヶ月が経過し、失ったものをただ嘆くのではなく、残ったものを大切に育てることで次なる災害を軽減し、災害の経験と教訓を活かして人の命や地域社会を守り、明るく住みよい新しい社会の実現に向け、被災、復旧、復興を通してお互いの心配りや助け合いを通じて、普段の生活自体を豊かにする意味でも重要だと思います。

むかわ町では、地域の再生と被災者の生活再建等の早期実現が求められる等、これまで以上に厳しい状況にあります。

平成31年4月1日から令和2年3月までむかわ町・社協・民間任意団体の3者連携でむかわ町復興支援ネットワークの名称で住民からの困り事や相談、生活支援等に対応してまいりました。

災害ボランティアセンターを設置し、運営した経緯から（砂川市、新十津川町、恵庭市、三笠市民生委員児童委員協議会、コープさっぽろ組合員活動委員会など）講演依頼や視察研修の受け入れ、道内外の各大学教授との調査・研究のためのヒアリング協力に時間を割かれました。

令和元年11月に苫小牧市内で開かれた地域防災フォーラム（胆振管内町内会連絡協議会など主催）で、胆振東部地震を経験した関係者らが「あの日を忘れない」と題してパネル討論にも参加させて頂きました。

地震や風水害の大規模災害発生時において、むかわ町地域防災計画に社協の位置付けを明確にし、災害ボランティアセンターに関する協定書（案）を理事会で協議し、町担当課と連携できる体制を要望しました。

地震災害の影響で、1年延期し令和元年11月24日（日）開催の第4回むかわ町社会福祉大会では長年にわたって社会福祉の向上に尽力した町民などを表彰。また、日本笑い学会秋田県人会の会長、人星亭喜楽駄朗（じんせいいてい・きらくだらう）師匠が「人生漫談～笑いは健康と幸せへのかけ橋」をテーマにユニークなトークで「人間の幸せ度は一生涯笑った回数で図られる。人生、多く笑った方が勝ちと会場を笑いの渦にし、250人参加のもと盛会裏に終了しました。

今後も複雑化する課題に対し、社協が果たす役割の重要性がこれまで以上に求められ、福祉課題の解決に向けた支援や仕組みづくりを進めていく必要があります。

第5期地域福祉実践計画（平成29年度～令和3年度）の3年目として見直しを実施し、町民一人ひとりが安心して暮らせる福祉がある町を目指して、行政・民生委員・児童委員、社会福祉法人（施設）、ボランティア・町民活動団体など多様な関係機関・団体と連携を図りながら事業の実施に努めました。

令和2年2月に入り日本各地で新型コロナウイルスの感染が拡大する中、全国でも最も多くの感染者を出している北海道の鈴木知事は、2月28日国に先駆けて自治体の首長として住民に外出自粛を要請しました。感染拡大を防ぐため、政府が全国の小中高校などに春休みまでの臨時休校を要請したことを受け、むかわ町では、4月上旬まで約40日間の連続休暇となりました。

社協は、令和2年2月28日に鵠川地区のまなぶ館で予定していた料理教室をはじめ、29日の町ボランティア連絡協議会の研修会、3月に鵠川、穂別地区でそれぞれ組んでいた「いきいきふれあいサロン」、今年度最後となる地域高齢者の集い「なかよし広場」などを中止といたしました。

3月下旬以降の事業について、今後の一連の動向を見極めながら判断することとしました。

むかわ町の受託事業（外出支援事業、生活支援・介護予防体制整備事業）は、内容等の見直し協議を行い地域住民のサービスの推進に繋げるためむかわ町に予算要望を行いました。

今後も、地域の様々な課題解決や地域コミュニティの活性化に向けて、地域住民と社協それぞれの立場を理解しながら協力・連携を深め、地域共生社会づくりを推進してまいります。

1. 評議員会開催状況

(1) 第1回定期評議員会	令和元年 6月11日	17名出席 理事・監事13名出席
・ 報 告～令和1年度共同募金助成額決定報告について等	4件	
・ 議 案～平成30年度事業報告、平成30年度資金収支決算報告について等	6件	
(2) 第1回定期例評議員会	令和2年 3月31日	15名出席 理事・監事14名出席
・ 議 案～令和2年度事業計画、令和2年度資金収支予算について等	3件	

2. 理事会開催状況

(1) 第1回臨時理事会	令和元年 6月11日	14名出席
・ 報 告～理事・監事の選任について	1件	
・ 議 案～正副会長の選任について	1件	
(2) 第1回定期例理事会	令和元年 5月27日	13名出席
・ 報 告～令和1年度共同募金助成額決定報告について等	6件	
・ 議 案～理事・監事の候補者（案）について等	7件	
(3) 第2回定期例理事会	令和元年 8月 1日	12名出席
・ 報 告～第1回ふれあい広場実行委員会開催報告について等	7件	
・ 議 案～第4回むかわ町社会福祉大会の開催日程等について等	2件	
(4) 第3回定期例理事会	令和元年 9月25日	10名出席
・ 報 告～新十津川町社会福祉協議会役員等視察研修報告について等	10件	
・ 議 案～むかわ町社会福祉協議会会长表彰等の被表彰者の決定について	1件	
(5) 第4回定期例理事会	令和元年12月 6日	14名出席
・ 報 告～令和1年度社会福祉法人に係る指導監査の結果について等	5件	
・ 議 案～令和1年度指導監査結果措置状況報告書について等	2件	
(6) 第5回定期例理事会	令和2年 2月 6日	13名出席
・ 報 告～令和2年度予算要望状況報告について等	8件	
・ 議 案～令和2年度事業計画（案）について等	2件	
(7) 第6回定期例理事会	令和2年 3月17日	13名出席
・ 報 告～各部会・委員会の開催報告について等	3件	
・ 議 案～令和1年度資金収支補正予算について等	7件	

3. 監事の監査及び報告状況

- (1) 第1回監査（平成30年度 決算監査）
・ 実施～令和元年 5月10日 2名出席
・ 報告～令和元年 5月27日 第1回定例理事会
- (2) 第2回監査（令和元年度 第1／四半期監査・平成30年度助成団体監査）
・ 実施～令和元年 7月22日 2名出席
・ 報告～令和元年 8月 1日 第2回定例理事会
- (3) 第3回監査（令和元年度 第2／四半期監査）
・ 実施～令和元年 11月11日 2名出席
・ 報告～令和元年 12月 6日 第4回定例理事会
- (4) 第4回監査（令和元年度 第3／四半期監査）
・ 実施～令和2年 2月 5日 2名出席
・ 報告～令和2年 2月 6日 第5回定例理事会

4. 部会及び委員会開催状況

- (1) 総務部会
・ 実施～令和元年 7月17日 8名
・ 令和元年10月30日 6名
・ 令和2年 1月21日 9名
・ 令和2年 2月20日 7名 延べ30名出席
・ 報告～令和元年度社会福祉法人に係る指導監査結果について等 述べ 8件
・ 議案～令和2年度事業計画、令和2年度資金収支予算について等 延べ10件
- (2) 福祉事業部会
・ 実施～令和元年 7月31日 6名
・ 令和元年11月14日 6名
・ 令和2年 2月26日 7名 延べ19名出席
・ 報告～令和元年度歳末たすけあい募金助成について等 述べ 4件
・ 議案～第5期地域福祉実践計画実績及び成果・課題について等 延べ 5件
- (3) 広報編集委員会
・ 実施～令和2年 1月30日 4名出席
・ 報告～令和元年度広報発行計画の報告について 1件
・ 協議～広報紙「ふくしだより」の改善事項について等 延べ 2件

- (4) たすけあい金庫貸付運営委員会
- ・ 実 施～令和元年12月16日 5名出席
 - ・ 報 告～令和元年度たすけあい金庫貸付・償還状況について等 延べ 2件
- (5) 生活福祉資金貸付調査委員会
- ・ 実 施～令和元年12月16日 5名出席
 - ・ 報 告～令和元年度生活福祉資金貸付・償還状況について等 延べ 4件
- (6) ボランティアセンター運営委員会
- ・ 実 施～令和元年12月24日 3名出席
 - ・ 報 告～ボランティアセンターの運営について等 延べ 4件
 - ・ 議 案～令和2年度ボランティア事業等について 1件
 - ・ その他～「愛の小箱」回収について

計 画	実 施																				
<p>I 法人運営事業</p> <p>1. 本所・支所の組織の充実</p> <p>(1) 本所・支所の職員配置及び適正化に努める。</p> <p>(2) 職員の質の向上、能力向上の取り組みとして、資格習得の促進、外部研修を中心に、職務に関する専門研修や階層別研修等への積極的参加を促す。</p> <p>(3) 職員倫理規定を遵守し職員会議等でコンプライアンスの理解を深める。</p> <p>(4) 事業前の打ち合わせ、事業後の反省等を職員会議で（年4回）報告し、協議する。ミーティングは必要な都度開き意識教育を徹底する。</p> <p>(5) 多様な住民の福祉ニーズに対応するため、「生活支援員」からの情報収集に努める。</p> <p>2. 法人財政基盤の安定</p> <p>(1) 社協は住民主体の民間団体として、活動の自主性を高めていくためにも自主財源の確保が必要です。地域に密着したより良い福祉サービスの提供、地域福祉の推進を図るために、会員（会費加入）会費の募集を行います。</p> <p>(2) 社協広報誌「ふくしだより」への企業等の有料広告掲載に係る周知を図り、掲載企業等を募る。</p> <p>(3) 行政等の事業受託、収益事業等への可能性の有無を模索する。</p> <p>(4) 公費の適正な財源確保を図る必要性について、むかわ町の理解と協力を積極的に働きかける。</p> <p>(5) 共同募金（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）は貴重な自主財源となることから、共同募金委員会と連携を図り、町民や企業、各種団体の協力のもと10月1日から12月31日までの3ヶ月間募金活動を展開します。</p>	<p>正職員間で業務の効率化を図った。</p> <p>関係機関等の研修会に参加。社会福祉士等資格取得のための奨励を図り、職員の協力があつた。</p> <p>職員倫理規定の遵守を職員会議等で理解を深めた。</p> <p>職員会議を4回開催。ミーティングは適宜実施した。</p> <p>生活支援員から都度情報を聞き取り、関係機関との情報共有を図った。</p>																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>元年度</th><th>30年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般会費</td><td>2,191,700</td><td>2,251,900</td><td>△60,200</td></tr> <tr> <td>特別会費</td><td>433,000</td><td>433,000</td><td>0</td></tr> <tr> <td>賛助会費</td><td>253,000</td><td>208,000</td><td>45,000</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>2,877,700</td><td>2,892,900</td><td>△15,200</td></tr> </tbody> </table> <p>※一般会費：前年4月1日基準で比較すると、人口で274名、109世帯減となった。</p> <p>企業等への要請を実施したが、実績なし。</p> <p>有料広告掲載募集をふくしだよりに1回掲載外出支援サービス従事者の雇用条件の検討を協議し、新年度に反映できた。</p> <p>担当課と事前打ち合わせを行い、事業説明及び予算について理解と協力を得た。</p> <p>町民等の理解を得て、赤い羽根共同募金は目標額に対して106,3%、また、歳末たすけあい募金は目標額に対して104,2%の達成率となりました。</p>	区 分	元年度	30年度	比 較	一般会費	2,191,700	2,251,900	△60,200	特別会費	433,000	433,000	0	賛助会費	253,000	208,000	45,000	合 計	2,877,700	2,892,900	△15,200
区 分	元年度	30年度	比 較																		
一般会費	2,191,700	2,251,900	△60,200																		
特別会費	433,000	433,000	0																		
賛助会費	253,000	208,000	45,000																		
合 計	2,877,700	2,892,900	△15,200																		

計 画	実 施
<p>3. 社協事務所・福祉活動拠点施設の適切な利用</p> <p>本所、支所事務所は、むかわ町の理解のもと十分なスペースと明るい環境のもと、社協専用スペースとして高齢者や障がいのある方、ボランティア、協力者等誰もが気軽に立ち寄れる場所として適切に活用する。相談業務で、来所される方のプライバシー確保を図る環境整備に努める。また、福祉活動拠点として、住民の福祉活動拠点となる施設機能を持った「ボランティアセンター」「介護予防センター」「町民センター」等をサロン事業等で有効に利用する。</p>	<p>常に整理整頓し、備品等の設置も考慮しながら来所者が気軽に立ち寄れる場所とした。相談支援等で来所された場合は空き状況により個室にて対処した。</p> <p>いきいきふれあいサロン事業等で「介護予防センター」並びに「町民センター」の会議室及びコミュニティールームを適切に利用した。</p>
<p>4. サービスの質の向上の取り組み</p> <p>福祉サービス利用者支援のため、苦情があった場合には誠心誠意対応し、事情調査に取り組み、解決に向けて苦情解決システムの運用を図る。</p>	<p>苦情相談窓口体制を掲示し、対応した。苦情受付及び報告等の取扱実績 0 件。</p>
<p>5. 生活支援・介護予防サービス体制整備事業の委託</p> <p>平成29年度より、町より委託を受け始まった事業で、むかわ町地域包括支援センターと連携し協働で事業を推進していきます。介護予防を含む住民主体による活動や支援体制の開発と生活支援等サービスの開発は一体的に行われることが望ましく、できるだけ多くの地域の主体や元気な高齢者の参加を得て生活支援等サービスが提供できる体制や基盤をつくる生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を継続して配置する。</p>	<p>むかわ町担当課と連携を図り、社協の役割、支援方法を協議した。</p> <p>職員1名（兼務）、嘱託職員1名の生活支援コーディネーターを配置。</p> <p>生活支援ボランティアポイント事業に新たに爪切り、耳かき支援のボランティアを開始、ボランティア研修会では、現在の課題と今後の活動について協議した。新規ボランティア11名の登録がありました。また、毎月2回開催される地域ケア会議に出席し、高齢者等福祉対策及び介護予防事業の情報共有と意見交換を行った。</p>
<p>6. 第5期地域福祉実践計画の取り組み</p> <p>第5期地域福祉実践計画の進捗状況や事業評価等を行い、適正な運用を図ります。社会・経済情勢の変化や社会福祉の動向などに対応するため、必要に応じて計画内容の見直しを福祉事業部会等で協議する。</p>	<p>福祉事業部会で現状把握とともに協議・評価見直しを行い総務部会及び理事会に報告した。</p>
<h2>II. 広報・啓発事業</h2> <p>1. ふくしだよりの発行、各種情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)ふくしだより（ボランティア情報誌を含む）を、年間6回発行、全戸配付する。 (2)社協概要を7月に発行し、福祉関係機関などに配布する。 (3)地域活動を推進するため、各種情報を掲示板等で提供する。 (4)ホームページを必要時に更新し、ボランティア活動や福祉活動、各種事業等の情報の充実に努め、新着 	<p>年6回発行（№.78～83）全戸に配付した。</p> <p>発行日 R1.6.1 / R1.8.1 / R1.10.1 R1.12.1 / R2.2.1 / R2.4.1</p> <p>令和元年7月に発行し配付した。</p> <p>各種情報を適宜掲示板等で提供した。</p> <p>内容等を更新しながら地域福祉に関連する社協事業を新着情報として発信した。</p>

計 画	実 施												
<p>情報や事業報告をタイムリーに発信、また法人情報の積極的開示を推進し、地域福祉に対する理解と認識を高める。</p> <p>(5)新聞（道新、苦民など）による福祉情報提供の推進及び広報誌と連携し、福祉企画・福祉事業等の情報を発信し、地域福祉の啓発を図ります。</p>	<p>社協事業の事前周知・事業実施の報道を積極的に依頼し、新聞記事に掲載された。</p>												
III. 地域福祉活動事業													
1. 第4回むかわ町社会福祉大会の開催	<p>地域福祉の啓発を目的に令和元年11月24日（日）四季の館「たんぽぽホール」で約250名参加のもと開催。式典では、長年にわたって町社協の運営発展や社会福祉の向上に尽力した町民などを表彰。また、募金運動に協力した団体などに北海道共同募金会会長感謝状を伝達した。日本笑い学会秋田県人会会長の人星亭喜楽駄朝師匠が「人生漫談～笑いは健康と幸せのかけ橋」をテーマにユニークなトークで来場者を笑顔にした。</p>												
2. 地域ネットワーク事業の推進	<p>令和元年8月31日(日)に約650人参加のもと四季の館内で開催。ふれあい広場実行委員会が主体となり、テーマ「『困った』を見すごい。共に支え合い・助け合い・しあわせのまちづくり」とし、鵠川中央小学校の子供達のステージ発表もあり、町内の園児の絵の展示や、小学生が教えるバルーンアートの体験ブース、じやんけん大会など多くのボランティアが運営を支え、子供から大人まで幅広い楽しい交流の場となった。</p>												
3. たまり場の支援	<p>誰でも自由に立ち寄れる場所、お茶を飲みながら世間話ができる情報交換の場となる「サロン」の役割と「ボランティアの育成と活動の場」として側面から支援した。</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和元年度</th><th>平成30年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日数</td><td>139日</td><td>139日</td></tr> <tr> <td>利用者数</td><td>1,410人</td><td>1,071人</td></tr> <tr> <td>1日平均</td><td>10,1人</td><td>7,7人</td></tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染防止の為2月25日から3月31日まで臨時休業</p>		令和元年度	平成30年度	開催日数	139日	139日	利用者数	1,410人	1,071人	1日平均	10,1人	7,7人
	令和元年度	平成30年度											
開催日数	139日	139日											
利用者数	1,410人	1,071人											
1日平均	10,1人	7,7人											

計 画	実 施																																										
<p>4. 自治会（町内会）活動推進事業</p> <p>(1) むかわ町地域福祉活動推進奨励事業</p> <p>高齢化が急ピッチで進行し、ひとり暮らし高齢者の孤独死や介護疲れによる悲しい事件が起きるなど、さまざまな社会問題が発生している。「誰もが健康で安心して生活できる地域社会」にするには、地域(町内会・自治会)での高齢者や障がいのある方を地域が連帯して支えあう取り組みが不可欠である。これらの活動を町内会・自治会単位で主体的に取り組むことを奨励し、①見守り活動②日常生活支援事業③社会参加活動を実践した地区に活動費の一部を助成する。</p> <p>■実践活動</p> <p>1. 見守り活動</p> <p>対象：日常の生活や健康状態、非常時の対応が心配なひとり暮らしの高齢者等</p> <p>事例：声かけや定期的な訪問による話し相手などをしながら、安否の確認や健康上の変化を見守ることによって、事故を未然に防いだり、異常を発見します。</p> <p>【訪問しなくても、例えば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間、電気が点灯しているか。 ・カーテンが開閉されているか。 ・新聞郵便物がたまっていないか。 ・回覧板が回っているか。 ・雪が積もったままか。 <p>などを見回りするだけでも効果があります。</p> <p>助成：(1)連合自治会、広域及び市街地自治会 1万円 (2)上記以外の自治会 5千円</p> <p>2. 日常生活支援活動</p> <p>対象：身体が不自由になって、炊事、洗濯、掃除などの家事や外出が困難となっている世帯、家族での介護や看病が困難な高齢者等</p> <p>事例：(1)家事援助～除雪・除草・買物・ゴミ出し・掃除・洗濯・アイロンかけ・布団干し・代筆・食事つくりなど (2)身辺介助～洗髪・ヒゲ剃り・爪きり・着替え・化粧など</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>令和元年度</th><th>平成 30 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>25 件</td><td>185,000</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>12 件</td><td>70,000</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>36 件</td><td>255,000</td></tr> <tr> <td></td><td>25 件</td><td>185,000</td></tr> <tr> <td></td><td>11 件</td><td>65,000</td></tr> <tr> <td></td><td>36 件</td><td>250,000</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>令和元年度</th><th>平成 30 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>12 件</td><td>191,500</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>8 件</td><td>103,500</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>19 件</td><td>295,000</td></tr> <tr> <td></td><td>11 件</td><td>181,000</td></tr> <tr> <td></td><td>8 件</td><td>106,500</td></tr> <tr> <td></td><td>19 件</td><td>287,500</td></tr> </tbody> </table>	区 分	令和元年度	平成 30 年度	鶴川地区	25 件	185,000	穂別地区	12 件	70,000	合 計	36 件	255,000		25 件	185,000		11 件	65,000		36 件	250,000	区 分	令和元年度	平成 30 年度	鶴川地区	12 件	191,500	穂別地区	8 件	103,500	合 計	19 件	295,000		11 件	181,000		8 件	106,500		19 件	287,500
区 分	令和元年度	平成 30 年度																																									
鶴川地区	25 件	185,000																																									
穂別地区	12 件	70,000																																									
合 計	36 件	255,000																																									
	25 件	185,000																																									
	11 件	65,000																																									
	36 件	250,000																																									
区 分	令和元年度	平成 30 年度																																									
鶴川地区	12 件	191,500																																									
穂別地区	8 件	103,500																																									
合 計	19 件	295,000																																									
	11 件	181,000																																									
	8 件	106,500																																									
	19 件	287,500																																									

計 画	実 施																																																																																				
<p>(3)外出介助～買物随行・散歩随行・知人宅訪問・通院付添など</p> <p>(4)介護支援～介護の手伝い・介護者の代行など</p> <p>(5)その他～簡単な用事足し・給配食・留守番・諸手続きの代理・薬の受取・話し相手・悩みごと相談など</p> <p>助成：(1)連合自治会、広域及び市街地自治会 2万円 (2)上記以外の自治会 1万円 (3)要支援者 1人につき 500円加算 ※介護保険認定者は除く。</p> <p>3. 社会参加活動助成</p> <p>対象：住民</p> <p>事例：家に閉じこもっていると寝たきりへの道へ猛スピードで疾走することになります。高齢期を元気で生き生き暮らすには、「健康づくり」、「仲間づくり」、「生きがいづくり」が大切です。地域住民のふれあいのなかで、コミュニティ活動を再生します。</p> <p>(1)介護予防事業（元気高齢者づくり）</p> <p>生きがい活動、花いっぱい運動、スポーツレク大会、サロン活動・健康教育、料理教室、昼食会、昔の遊び・輪投げ・パッチなど</p> <p>(2)世代間交流事業</p> <p>高齢者と子供・婦人の集い、高齢者の能力を引き出す事業、体験学習など</p> <p>(3)自治会(町内会)行事への連れ出し</p> <p>運動会、パークゴルフ大会、各種レク大会、生きがい健康まつり、花見会・リサイクル活動・研修会・温泉旅行など</p> <p>助成：参加者 1人につき 200円、2万円を限度とする。 ※他から助成される事業は、対象外とする。 ※1自治会2事業を限度とする。</p> <p>(2) 福祉委員活動の推進</p> <p>福祉委員は、地域に目を向け、住民の生活・福祉課題を見つけ出し、関係機関（者）につなげる地域のボランティアです。住民目線で地域のさまざまな困りごとに気づいてもらい、早期発見から早期対応につなげていくために「目配り」</p>	<p>【(1)+(2)+(3)の合計】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>令和元年度</th><th>平成 30 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵡川地区</td><td>54 件</td><td>616,200</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>16 件</td><td>169,200</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>70 件</td><td>785,400</td></tr> <tr> <td></td><td>52 件</td><td>568,800</td></tr> <tr> <td></td><td>13 件</td><td>130,400</td></tr> <tr> <td></td><td>65 件</td><td>699,200</td></tr> </tbody> </table> <p>(1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>令和元年度</th><th>平成 30 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵡川地区</td><td>18 件</td><td>175,000</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>2 件</td><td>25,800</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>20 件</td><td>200,800</td></tr> <tr> <td></td><td>16 件</td><td>152,400</td></tr> <tr> <td></td><td>1 件</td><td>4,800</td></tr> <tr> <td></td><td>17 件</td><td>157,200</td></tr> </tbody> </table> <p>(2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>令和元年度</th><th>平成 30 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵡川地区</td><td>10 件</td><td>91,800</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>3 件</td><td>19,000</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>13 件</td><td>110,800</td></tr> <tr> <td></td><td>12 件</td><td>103,200</td></tr> <tr> <td></td><td>3 件</td><td>19,000</td></tr> <tr> <td></td><td>15 件</td><td>122,200</td></tr> </tbody> </table> <p>(3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>令和元年度</th><th>平成 30 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵡川地区</td><td>26 件</td><td>349,400</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>11 件</td><td>124,400</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>37 件</td><td>473,800</td></tr> <tr> <td></td><td>24 件</td><td>313,200</td></tr> <tr> <td></td><td>9 件</td><td>106,600</td></tr> <tr> <td></td><td>33 件</td><td>419,800</td></tr> </tbody> </table> <p>福祉委員 75名の委嘱 期間 令和2年3月31日まで（3年） ○ボランティア養成研修 ・令和元年7月9日（火）穂別町民センター ・参加者 27名 ・「胆振東部地震からの復興を目指して」</p>	区 分	令和元年度	平成 30 年度	鵡川地区	54 件	616,200	穂別地区	16 件	169,200	合 計	70 件	785,400		52 件	568,800		13 件	130,400		65 件	699,200	区 分	令和元年度	平成 30 年度	鵡川地区	18 件	175,000	穂別地区	2 件	25,800	合 計	20 件	200,800		16 件	152,400		1 件	4,800		17 件	157,200	区 分	令和元年度	平成 30 年度	鵡川地区	10 件	91,800	穂別地区	3 件	19,000	合 計	13 件	110,800		12 件	103,200		3 件	19,000		15 件	122,200	区 分	令和元年度	平成 30 年度	鵡川地区	26 件	349,400	穂別地区	11 件	124,400	合 計	37 件	473,800		24 件	313,200		9 件	106,600		33 件	419,800
区 分	令和元年度	平成 30 年度																																																																																			
鵡川地区	54 件	616,200																																																																																			
穂別地区	16 件	169,200																																																																																			
合 計	70 件	785,400																																																																																			
	52 件	568,800																																																																																			
	13 件	130,400																																																																																			
	65 件	699,200																																																																																			
区 分	令和元年度	平成 30 年度																																																																																			
鵡川地区	18 件	175,000																																																																																			
穂別地区	2 件	25,800																																																																																			
合 計	20 件	200,800																																																																																			
	16 件	152,400																																																																																			
	1 件	4,800																																																																																			
	17 件	157,200																																																																																			
区 分	令和元年度	平成 30 年度																																																																																			
鵡川地区	10 件	91,800																																																																																			
穂別地区	3 件	19,000																																																																																			
合 計	13 件	110,800																																																																																			
	12 件	103,200																																																																																			
	3 件	19,000																																																																																			
	15 件	122,200																																																																																			
区 分	令和元年度	平成 30 年度																																																																																			
鵡川地区	26 件	349,400																																																																																			
穂別地区	11 件	124,400																																																																																			
合 計	37 件	473,800																																																																																			
	24 件	313,200																																																																																			
	9 件	106,600																																																																																			
	33 件	419,800																																																																																			

計 画	実 施																				
<p>「気配り」「心配り」をしていただいています。地域のつながりが希薄化している一方で、生活をしていく上での問題・課題は増大かつ複雑・多様化しています。これらを解決していくためには、地域にある生活・福祉課題をみんなで考え、行動していく必要があります。具体的に推進するため、自治会・町内会長の協力を得て情報交換の場や新任委員のための研修を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人ウエルビ デザイン 理事長 篠原 辰二 氏 ○ボランティア研修会（生活支援）鵡川地区 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年12月10日（火） ・四季の館会議室 ・参加者 15名 ○ボランティア研修会（生活支援）穂別地区 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年12月11日（水） ・穂別町民センターコミュニティールーム B ・参加者 15名 																				
<p>5. 福祉活動車輛及び福祉機器・備品の貸出サービス</p> <p>(1) リフト付ワゴン車を整備し、単独で移動困難な高齢者、障がい者等並びにボランティア団体、自治会町内会、福祉団体等に社協公用車を貸し出すことにより、外出支援・社会参加を促進及び団体活動を支援する。</p> <p>(2) 車いすや電動ベッド等の福祉機器を必要な方へ貸し出します。介護保険制度での購入、レンタルや障がい福祉制度での助成が対象とならない方など制度では対応できない方へ貸し出します。また、福祉教育での車いす体験等、学校での授業の一環での活用や選挙による各選挙投票所への配置などにも貸し出します。</p> <p>(3) 行事用テント、遊具などの備品を無償で貸し出しします。</p>	<p>※単位老人クラブ定例会等で使用（土曜日）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>元年度</th><th>30 年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵡川地区</td><td>8 件</td><td>1 件</td><td>7 件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>---</td></tr> </tbody> </table>	区 分	元年度	30 年度	比 較	鵡川地区	8 件	1 件	7 件	穂別地区	0 件	0 件	---								
区 分	元年度	30 年度	比 較																		
鵡川地区	8 件	1 件	7 件																		
穂別地区	0 件	0 件	---																		
<p>6. 生活改善合理化普及奨励事業及び葬祭協力</p> <p>(1) 生活改善合理化による虚礼廃止を奨励し、慶弔用ハガキを作成し提供する。</p> <p>(2) 会員加入自治会・町内会が主体で行われる葬祭に協力する。</p> <p>(3) 町民の弔慰に対して、故人への追悼と敬意を表すため、レタックスにより弔慰文を送付する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>元年度</th><th>30 年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車椅子</td><td>40 件</td><td>22 件</td><td></td></tr> <tr> <td>歩行器</td><td>10 件</td><td>14 件</td><td></td></tr> <tr> <td>簡易トイレ</td><td>17 件</td><td>14 件</td><td></td></tr> <tr> <td>行事用テント</td><td>16 件(77 張)</td><td>17 件(68 張)</td><td></td></tr> </tbody> </table>	区 分	元年度	30 年度	比 較	車椅子	40 件	22 件		歩行器	10 件	14 件		簡易トイレ	17 件	14 件		行事用テント	16 件(77 張)	17 件(68 張)	
区 分	元年度	30 年度	比 較																		
車椅子	40 件	22 件																			
歩行器	10 件	14 件																			
簡易トイレ	17 件	14 件																			
行事用テント	16 件(77 張)	17 件(68 張)																			
<p>7. 福祉団体助成事業</p> <p>(1) 遺族会への活動費の助成と支援を行う。</p> <p>(2) 自治会婦人部連絡協議会への活動費の助成を行う。</p>	<p>葬儀・見舞い返し用葉書を印刷し提供した。</p> <p>1 年度 23 件 7,620 枚/30 年度 33 件 12,000 枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>元年度</th><th>30 年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵡川地区</td><td>2 件</td><td>10 件</td><td>△8 件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>0 件</td><td>1 件</td><td>△1 件</td></tr> </tbody> </table>	区 分	元年度	30 年度	比 較	鵡川地区	2 件	10 件	△8 件	穂別地区	0 件	1 件	△1 件								
区 分	元年度	30 年度	比 較																		
鵡川地区	2 件	10 件	△8 件																		
穂別地区	0 件	1 件	△1 件																		
<p>8. 高齢者福祉活動事業</p> <p>(1) 老人クラブ連合会事業への支援</p> <p>スポーツ大会、演芸発表会、研修及び交流事業などの実施、ボランティア活動を通じて社会参加する等、健康の増進とふれあいの機会を拡充とともに、生きがいをもって生活できるよう支援する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>元年度</th><th>30 年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件 数</td><td>81 件</td><td>113 件</td><td>△32 件</td></tr> </tbody> </table> <p>遺族会 173,000 円助成 穂別自治会婦人部連絡協議会 23,000 円助成 • 胆振東部小ブロック老連研修交流会/穂別町民センター 6 月 26 日（水）163 名 ふれあいスポーツ大会 • 7 月 19 日（金）たんぽぽホール 193 名（鵡川） • 7 月 26 日（金）旧仁和小体育館 100 名（穂別） • パークゴルフ大会/6 月 15 日（木）穂別森林組合 • ゲートボール・ペタンク交流会支援 8 月 29 日（木）屋内ゲートボール場 31 名 • 演芸発表会 12 月 18 日（木）たんぽぽホール 190 名</p>	区 分	元年度	30 年度	比 較	件 数	81 件	113 件	△32 件												
区 分	元年度	30 年度	比 較																		
件 数	81 件	113 件	△32 件																		

計 画	実 施			
(2) いきいきふれあいサロンの推進 65歳以上でディサービスに通っていない、外出の機会の少なくなった高齢者を対象に、毎月ないし隔月に軽い体操やレクリエーション、そして昼食と共にしながら憩い場づくり事業として実施する。町の「あった〇事業」対象者に町発行カードに参加確認のスタンプを押し支援する。	区分	元年度	30年度	比較
	鶴川地区	670名	657名	13名
	穂別地区	207名	198名	9名
	合 計	877名	855名	22名
*新型コロナの為中止(鶴川地区1回・穂別地区1回)				
(3) 男の料理教室の推進 60歳以上の男性を対象に料理の基礎技術等を習得し、日常生活において栄養バランスの良い食事を心がけることにより、生活環境の改善、増進を図り、健康、福祉に繋げる。	区分	元年度	30年度	比較
	鶴川地区	0名	7名	△7名
	穂別地区	1名	3名	△2名
※新型コロナの為鶴川地区2月開催中止				
(4) 地区敬老会などへの祝い品の贈呈 地区敬老会や施設の敬老会に参加し、長寿を祝い祝い品の贈呈をする。	区分	元年度	30年度	
	鶴川地区	1件	1件	
	穂別地区	11件	1件	
※30年度は、胆振東部地震の影響で中止 身障者福祉協会むかわ支部 176,000円助成				
9. 障がい者福祉活動事業 身障者福祉協会むかわ支部のスポーツ大会、研修及び交流などの支援をし、活動費を助成する。	子供会育成連絡協議会 76,000円助成			
10. 児童・青少年福祉活動事業 (1) 子供会連絡協議会に、活動費を助成し支援する。 (2) 児童生徒健全育成事業(親子バス遠足) ひとり親・障がい児のいる世帯等の青少年が、集団生活の中で仲間に対して思いやりのある心を育て、交流及び研修を深めることを目的とする。	児童生徒健全育成事業(親子バス遠足) ・令和元年7月28日(日) ・円山動物園(札幌市) ・8世帯20名参加/役員・職員5名			
11. 母子・父子福祉活動事業 (1) つくしの会(母子会)に、活動費を助成し支援する。 (2) 低所得世帯のひとり親家庭の小学校及び中学校修学旅行児童及び生徒に支度金として助成する。 (3) 低所得世帯のひとり親家庭の小学校入学児童及び中学校卒業生徒に支度金として助成する。 (4) 低所得世帯でひとり親家庭の児童に対して、小学校入学時に希望があればランドセル(ハーバーブルー、ピンク、オーロラピンク、サクラ色限定)を贈呈する。	つくしの会 83,000円助成			
区 分 元年度 30 年度 増 減				
区 分	元年度	30 年度	増 減	
小学校	4 件	40,000	3 件	30,000 1 件増
中学校	4 件	40,000	3 件	30,000 1 件増
合 計	8 件	80,000	6 件	60,000 2 件増
区 分	元年度	30 年度	増 減	
小学校	0 件	0	1 件	10,000 1 件減
中学校	3 件	30,000	2 件	20,000 1 件増
合 計	3 件	30,000	3 件	30,000 一
ランドセ ル贈呈	0 件	1 件	1 件減	
IV. 在宅福祉サービス事業				
1. 受託事業 (1) 外出支援サービス事業 公共交通機関を使用できない高齢者等に、町内の病院や入浴等送迎サービスを実施する。	区分	元年度	30 年度	比較
	外出支援	延 2,982 回	延 2,845 回	137 回
	入浴送迎	延 624 回	延 392 回	232 回
	路線廃止	延 98 回	延 135 回	△37 回
	合 計	延 3,704 回	延 3,372 回	332 回

計 画	実 施																
(2) 配食サービス事業 地域の独居高齢者や、高齢者夫婦世帯等を対象にボランティアによる見守り活動を含めた配食活動を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>元年度</th><th>30 年度</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵠川地区</td><td>1, 410 食</td><td>2, 204 食</td><td>△794</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>807 食</td><td>1, 005 食</td><td>△198</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>2, 217 食</td><td>3, 209 食</td><td>△992</td></tr> </tbody> </table>	区 分	元年度	30 年度	比較	鵠川地区	1, 410 食	2, 204 食	△794	穂別地区	807 食	1, 005 食	△198	合 計	2, 217 食	3, 209 食	△992
区 分	元年度	30 年度	比較														
鵠川地区	1, 410 食	2, 204 食	△794														
穂別地区	807 食	1, 005 食	△198														
合 計	2, 217 食	3, 209 食	△992														
2. 生活支援事業																	
(1) 高齢者等生活支援事業 制度の狭間にある多様な福祉ニーズに弾力的に対応するため、社協の独自事業として次の事業を実施する。																	
ア. おでかけ支援事業 在宅の独居及び老夫婦等で、とじこもりがちな高齢者等に対し、お楽しみ行事、買い物、交流会、ドライブ、温泉入浴等へのおでかけを支援する事業	<p>町外おでかけ 各地区 2回実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>元年度</th><th>30 年度</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵠川地区</td><td>48 名</td><td>44 名</td><td>4名</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>23 名</td><td>37 名</td><td>△14名</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>71 名</td><td>81 名</td><td>△10名</td></tr> </tbody> </table>	区 分	元年度	30 年度	比較	鵠川地区	48 名	44 名	4名	穂別地区	23 名	37 名	△14名	合 計	71 名	81 名	△10名
区 分	元年度	30 年度	比較														
鵠川地区	48 名	44 名	4名														
穂別地区	23 名	37 名	△14名														
合 計	71 名	81 名	△10名														
イ. 独居老人等窓ビニール張り事業 老朽住宅に居住する在宅高齢者等で、窓にビニールを張ることによって、少しでも暖かい生活ができるよう支援する事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>元年度</th><th>30 年度</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵠川地区</td><td>0 件</td><td>1 件</td><td>△1 件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>4 件</td><td>6 件</td><td>△2 件</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>4 件</td><td>7 件</td><td>△3 件</td></tr> </tbody> </table>	区 分	元年度	30 年度	比較	鵠川地区	0 件	1 件	△1 件	穂別地区	4 件	6 件	△2 件	合 計	4 件	7 件	△3 件
区 分	元年度	30 年度	比較														
鵠川地区	0 件	1 件	△1 件														
穂別地区	4 件	6 件	△2 件														
合 計	4 件	7 件	△3 件														
ウ. 災害見舞金の支給事業 火災、風水害等により、家屋等が使用に耐えない程に焼失、流失、崩壊した町民に、見舞金を支給する。	1 件																
(2) 日常生活自立支援事業の推進 認知症や障がい等により判断能力が不十分な方々を対して、福祉サービス利用の援助、日常的な金銭管理等を行い、在宅での自立した生活を支援する。また、事業周知を図り専門員及び生活支援員と連携を密に推進する。	<p>前年度からの継続契約件数 1 件 今年度新規契約件数 0 件 解約件数 0 件 次年度継続契約 1 件 相談件数 3 件 指揮監督者・生活支援専門員（職員兼務） 生活支援専門員：本所 1 名・支所 1 名配置 生活支援員：登録 5 名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>元年度</th><th>30 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵠川地区</td><td>3 件</td><td>2 件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>1 件</td><td>1 件</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>4 件</td><td>3 件</td></tr> </tbody> </table>	区 分	元年度	30 年度	鵠川地区	3 件	2 件	穂別地区	1 件	1 件	合 計	4 件	3 件				
区 分	元年度	30 年度															
鵠川地区	3 件	2 件															
穂別地区	1 件	1 件															
合 計	4 件	3 件															
(3) 長寿祝い金贈呈事業 満 100 歳に達した長寿者に長寿祝い金及び花束を贈呈する																	
(4) 嶺末たすけあい助成事業 ① 嶺末見舞金（品）を支給（贈呈）する。																	

計 画	実 施				
	区 分	元年度		30 年度	
	歳末見舞金	15 件 19 名	196,000	16 件 20 名	208,000
	おせち料理	19 件 24 食	72,000	20 件 23 食	69,000
4 件 (再掲)					
	区 分	元年度	30 年度	比 較	
	対象自治会	5	5	—	
	対象世帯数	9	9	—	
V. ボランティア活動事業					
1. ボランティアセンターの運営	ボランティアコーディネーターを本所、支所に各 1 名配置し、情報発信等に努めた。				
ボランティア活動に参加しやすくなるように、相談窓口としての機能を充実させ、情報を集約・発信して住民のボランティア活動への参加の裾野を広げるよう推進し、拠点となるボランティアセンター機能の充実を図る。					
(1) ボランティアコーディネーターの配置					
(2) ボランティア活動に関する広報・情報取集、提供					
2. ボランティア活動事業の推進					
(1) ボランティア団体の強化育成	ボランティアさつき会 21,000 円助成 ボランティア連絡協議会 88,000 円助成				
各種団体活動の推進のため助言・協力し、一部経費の助成をする。					
(2) ボランティア実践者などの研修の実施	○ボランティア活動報告会 ・令和元年 12 月 4 日 (水) ・参加者 24 名 ・四季の館 研修室 (鶴川中央小、穂別小)				
ボランティア活動を実践している活動者やボランティア活動に興味関心を持つ地域住民に対し、研修の機会を設け、ボランティアの底上げを目指すとともに各種ボランティア事業への参加、実践者を育てまた、学童、生徒等のボランティア活動を町民に報告し活動の幅を広げる研修会を実施する。	○ボランティア研修会 ・令和元年 12 月 4 日 (水) ・参加者 24 名 ・講義「命を守る防災のお話」 ・しらおい防災マスター会 ・会長 吉村 智 氏、事務局長 民部 吉治 氏				
(3) 福祉教育推進事業	各学校のボランティア同好会の活動状況を把握し、事業の周知を行いふれあい広場にボランティアとして中学生 3 名の協力を得た。				
町内の学校及び関係機関と協働し、町民がボランティア活動等を通して地域に関わることのできる機会を設け、福祉教育を促進できる環境を整える。					

計 画	実 施				
(4)ボランティアアドバイザーなどの実践活動の実施 (なかよし広場) 「ボランティアアドバイザー研修」及び「ボランティア養成研修」を終え、実際に実践できる場を提供し、今後のボランティア活動の一層の振興を図るために、鶴川地区は町内の拠点施設を利用し6地区で、穂別地区は3地区でなかよし広場を実施する。 町の「あった〇事業」の対象事業として支援する。		区 分	元年度	30 年度	比 較
	鶴 川	開催場所 参加者数	5箇所 109名	3箇所 114名	2箇所 △5名
	穂 別	開催場所 参加者数	0箇所 0名	2箇所 33名	△2箇所 △33名
	*新型コロナウイルスの影響で中止：鶴川地区 1箇所 *新型コロナウイルスの影響で中止：穂別地区 2箇所				
(5) ボランティア活動の組織や交流の推進 ①ボランティアとの交流を通じ、広くボランティアについて理解してもらう場の提供 ②活動内容が共通するグループの交流や情報交換の機会の提供	 ○平成 30 年度ボランティアばんざい in 胆振 実施日：令和元年 10 月 4 日（白老町） ・参加者 9名 ○ボランティア視察研修（赤井川村社協等） 実施日：令和元年 10 月 3 日 ・参加者 23名				
(6) ボランティアの活動基盤整備 ①ボランティアポイント事業の周知及び活動の充実 町民・各種団体等への説明会開催 ② ボランティア登録とボランティア保険加入促進 ③ 災害ボランティアの登録と組織化 ④ ボランティアグループへの活動助成		元年度 加 入 数	30 年度 273 名	比 較 278 名	△5名
(7) 学童・生徒ボランティア活動普及指定校に、活動費を助成する。	指定校の宮戸小学校に 3 万円、穂別中学校に 5 万円を助成。				
(8) リサイクル活動事業（収集ボランティア）の推進 リングブル、古切手、書き損じハガキ、使用済みテレホンカード回収等のリサイクル活動を奨励する。		主な預託物品 プルタブ 古 切 手 ハ ガ キ カ ー ド	元年度 65 件 46 件 3 件 8 件	30 年度 259kg 37,060 枚 56 枚 51 枚	比 較 111 件 75 件 12 件 4 件
	 350kg 27,533 枚 194 枚 10 枚				
VI. 生活福祉資金・たすけあい金庫貸付事業	前年度からの継続貸付 4 件 償還が完了した貸付 0 件 次年度への継続貸付 4 件				
(1) 町内に在住する生活困窮者などに対し、その世帯の援護、自立更正、療養、住宅等の福祉資金の貸付事業を行う。（道社協が実施主体、市町村社協が窓口）	実績なし				
(2) 失業や減収で生活が困窮し、日常生活の維持が困難となっている低所得世帯の生活支援、住居確保、生活立て直しなどの資金として、総合支援資金の貸付事業を行う。（道社協が実施主体、市町村社協が窓口）					

計 画	実 施																				
(3)高等学校、大学等へ入学又は、就学する低所得世帯に対して教育支援資金の貸付事業を行う。 (道社協が実施主体、市町村社協が窓口)	前年度からの継続貸付 4件 本年度の新規貸付 0件 次年度への継続貸付 4件 実績なし																				
(4)住宅用資産を有するものの、現金収入が少なく生計の維持が困難である高齢者に対して、不動産担保型生活資金の貸付事業を行う。 (道社協が実施主体、市町村が窓口)																					
(5)生活困窮者に対して、応急生活資金、応急医療費などの生活つなぎ資金として、たすけあい金庫貸付事業を行う。(むかわ町社協が実施主体)																					
*生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付 被災された方で道内に住所を有し、当座の生活費を必要とする世帯に対して貸付を行う。 (道社協が実施主体、市町村が窓口)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>元年度</th><th>30 年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度からの継続貸付</td><td>2 件</td><td>4 件</td><td>△2 件</td></tr> <tr> <td>本年度の新規貸付</td><td>1 件</td><td>2 件</td><td>△1 件</td></tr> <tr> <td>償還が完了した貸付</td><td>0 件</td><td>4 件</td><td>4 件</td></tr> <tr> <td>次年度への継続貸付</td><td>3 件</td><td>2 件</td><td>1 件</td></tr> </tbody> </table>	区 分	元年度	30 年度	比 較	前年度からの継続貸付	2 件	4 件	△2 件	本年度の新規貸付	1 件	2 件	△1 件	償還が完了した貸付	0 件	4 件	4 件	次年度への継続貸付	3 件	2 件	1 件
区 分	元年度	30 年度	比 較																		
前年度からの継続貸付	2 件	4 件	△2 件																		
本年度の新規貸付	1 件	2 件	△1 件																		
償還が完了した貸付	0 件	4 件	4 件																		
次年度への継続貸付	3 件	2 件	1 件																		
*特別緊急小口資金貸付 胆振東部地震により、被災された世帯並びに生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付を受けても、なお当座の生活費を必要とする世帯に対して貸付を行う。 (道社協が実施主体、市町村社協が窓口)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>30 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>12 件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>3 件</td></tr> <tr> <td>計</td><td>15 件</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>30 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>8 件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>3 件</td></tr> <tr> <td>計</td><td>11 件</td></tr> </tbody> </table>	区 分	30 年度	鶴川地区	12 件	穂別地区	3 件	計	15 件	区 分	30 年度	鶴川地区	8 件	穂別地区	3 件	計	11 件				
区 分	30 年度																				
鶴川地区	12 件																				
穂別地区	3 件																				
計	15 件																				
区 分	30 年度																				
鶴川地区	8 件																				
穂別地区	3 件																				
計	11 件																				
VII. 心配ごと相談事業 心配ごと相談所を設置し、または民生児童委員の協力により、住民の日常生活上のいろいろな相談に気安く応じ、親身になって適切な助言を行い、あるいは解決に努める。また、行政からの要請を受け「行政相談週間」に心配ごと相談員として職員の派遣を行う。	隨時相談を受付け、解決に努めた。 10月10日行政相談日に職員を派遣した。																				